



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月9日

上場会社名 東京テアトル株式会社
コード番号 9633 URL <https://www.theatres.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 和宏
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 松岡 毅
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3355-1010

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,910	14.0	72	74.6	100	65.2	189	21.6
2023年3月期第1四半期	3,430	22.9	41		288	126.5	241	40.0

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 369百万円 (24.8%) 2023年3月期第1四半期 296百万円 (12.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	26.28	
2023年3月期第1四半期	32.41	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	23,903	12,253	51.1	1,697.83
2023年3月期	23,582	11,986	50.7	1,654.57

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 12,210百万円 2023年3月期 11,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		10.00	10.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	4.2	150	128.2	200	47.6	150	20.2	20.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	8,013,000 株	2023年3月期	8,013,000 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	821,354 株	2023年3月期	793,354 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	7,198,646 株	2023年3月期1Q	7,443,978 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、四半期決算短信[添付資料]3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2024年3月期第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日、以下「当四半期」といいます。)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和による経済社会活動の正常化に伴い、景気は緩やかに回復いたしました。一方、物価の上昇、人手不足の深刻化、海外景気の下振れリスクが懸念される等、先行きは極めて不透明な状況で推移しております。

このような状況の中、当四半期の連結業績は、中古マンション再生販売事業及び飲食事業の増収により売上高は3,910百万円(前年同期比14.0%増)、営業利益は72百万円(前年同期比74.6%増)となりました。しかし新型コロナウイルス感染症に伴う助成金収入が減少したこと等から経常利益は100百万円(前年同期比65.2%減)、飲食店2店舗の立退きに伴う受取補償金134百万円を特別利益に計上したことから親会社株主に帰属する四半期純利益は189百万円(前年同期比21.6%減)となりました。

■連結経営成績(百万円)

	前年同期	当四半期	増減
売上高	3,430	3,910	+479
営業利益	41	72	+30
経常利益	288	100	△187
親会社株主に帰属する四半期純利益	241	189	△52

セグメント別の業績概況は以下のとおりです。

■セグメント別外部売上高(百万円)

売上高	前年同期	当四半期	増減
映像関連事業	837	878	+40
飲食関連事業	1,196	1,346	+150
不動産関連事業	1,397	1,685	+288
計	3,430	3,910	+479

■セグメント別営業損益(百万円)

営業利益	前年同期	当四半期	増減
映像関連事業	3	11	+8
飲食関連事業	△51	73	+125
不動産関連事業	263	179	△83
調整額	△173	△193	△19
計	41	72	+30

<映像関連事業>

(映画興行事業)

『RRR』『名探偵コナン 黒鉄の魚影(サブマリン)』『aftersun/アフターサン』などが高稼働するなど好調に推移し、前年同期比で増収となりました。

当四半期末の映画館数及びスクリーン数は、前年度末と同じ8館21スクリーンです。

(映画制作配給事業)

当四半期の公開作品では『せかいのおきく』など4本を配給いたしました。当四半期は前記作品に加え前年度公開の『ロストケア』『エゴイスト』等が高稼働いたしました。配給収入は前年同期を下回ったものの、制作収入や出資作品の配分金収入が前年同期を上回ったことから、前年同期比で増収となりました。

(ソリューション事業)

景気の回復とともに、屋外広告等の受注が増加したことや、渡航制限解除により海外取材のテレビ番組制作が再開し前年同期比で増収となりました。

以上の結果、映像関連事業の売上高は878百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は11百万円（前年同期比212.5%増）となりました。

<飲食関連事業>

(飲食事業)

コロナ5類移行により客足が本格的に回復してきたことに加えて、インバウンド需要の増加や宴会需要が少しずつ戻り始め、前年同期比で増収となりました。

■飲食店・販売店の店舗数

	前年度末	当四半期末	増減
焼鳥専門店チェーン「串鳥」	37	37	0
都内居酒屋	4	4	0
その他	4	4	0
飲食店 合計	45	45	0
販売店 合計	4	4	0

以上の結果、飲食関連事業の売上高は1,346百万円（前年同期比12.6%増）、営業利益73百万円（前年同期は営業損失51百万円）となりました。

<不動産関連事業>

(不動産賃貸事業)

都内の賃貸オフィス市場の厳しさが増す中で、きめ細かいリーシング活動により賃貸物件が100%近い稼働率を維持し、前年同期並みの売上高となりました。

(中古マンション再生販売事業)

2023年4～6月期の首都圏の中古マンション市場における成約件数は8四半期連続で前年同期を下回りましたが、成約価格は前年同期比で7.0%上昇し、2012年10～12月期から43四半期連続で前年同期を上回りました。そのような中、マーケット価格の上昇に対して、販売が停滞し始めております。当事業は、在庫の価格調整を行い、販売を優先したことで、販売単価は下落したものの販売件数は増加し、前年同期比で増収となりました。

以上の結果、不動産関連事業の売上高は1,685百万円（前年同期比20.6%増）となりましたが、中古マンション再生販売事業の利益率低下により、営業利益は179百万円（前年同期比31.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期末の資産合計は、前年度末と比べて320百万円増加し、23,903百万円となりました。これは、流動資産その他が217百万円増加したこと、投資有価証券が257百万円増加したこと、受取手形、売掛金及び契約資産が67百万円減少したこと、有形固定資産が63百万円減少したこと等によるものです。

負債合計は、前年度末と比べて54百万円増加し11,650百万円となりました。これは、短期借入金が増加したこと、未払金が234百万円減少したこと、長期借入金が増加したこと等によるものです。

純資産合計は、前年度末と比べて266百万円増加し、12,253百万円となりました。これは、利益剰余金が増加したこと、その他有価証券評価差額金が増加したこと、自己株式31百万円を取得したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日の「2024年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,342,854	2,406,422
受取手形、売掛金及び契約資産	752,731	685,183
商品	352,350	305,379
販売用不動産	2,570,206	2,534,175
貯蔵品	28,293	33,578
その他	1,071,652	1,289,109
貸倒引当金	△824	△8,755
流動資産合計	7,117,264	7,245,093
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,759,849	3,705,355
機械装置及び運搬具（純額）	17,760	12,965
工具、器具及び備品（純額）	224,971	220,094
土地	9,662,030	9,662,030
リース資産（純額）	1,357	1,255
建設仮勘定	—	900
有形固定資産合計	13,665,969	13,602,601
無形固定資産		
借地権	34,237	34,237
ソフトウェア	21,328	29,544
その他	35,895	35,895
無形固定資産合計	91,461	99,677
投資その他の資産		
投資有価証券	2,157,598	2,414,874
差入保証金	396,359	401,820
繰延税金資産	64,356	51,348
その他	114,217	112,710
貸倒引当金	△25,000	△25,000
投資その他の資産合計	2,707,532	2,955,754
固定資産合計	16,464,963	16,658,034
資産合計	23,582,227	23,903,127

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,149,840	1,077,372
短期借入金	87,000	540,000
1年内返済予定の長期借入金	1,301,083	1,332,024
リース債務	1,606	1,051
未払金	601,055	366,189
未払法人税等	47,569	17,616
前受金	127,813	193,872
賞与引当金	201,891	113,269
その他	636,445	648,350
流動負債合計	4,154,307	4,289,747
固定負債		
長期借入金	3,713,382	3,544,273
リース債務	1,021	915
長期未払金	1,414	1,321
長期預り保証金	796,458	799,058
繰延税金負債	624,698	709,661
再評価に係る繰延税金負債	850,717	850,717
退職給付に係る負債	1,004,888	1,005,580
資産除去債務	448,495	448,754
固定負債合計	7,441,075	7,360,282
負債合計	11,595,382	11,650,029
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,552,640	4,552,640
資本剰余金	3,737,647	3,737,647
利益剰余金	2,480,855	2,597,815
自己株式	△1,077,385	△1,108,818
株主資本合計	9,693,757	9,779,284
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	369,293	548,529
土地再評価差額金	1,882,373	1,882,373
その他の包括利益累計額合計	2,251,666	2,430,903
非支配株主持分	41,421	42,910
純資産合計	11,986,845	12,253,097
負債純資産合計	23,582,227	23,903,127

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,430,582	3,910,206
売上原価	2,379,704	2,760,266
売上総利益	1,050,877	1,149,939
販売費及び一般管理費		
役員報酬	56,291	58,182
広告宣伝費	7,686	10,731
人件費	534,205	524,186
賞与引当金繰入額	51,687	78,512
退職給付費用	23,422	19,202
賃借料	79,142	75,962
水道光熱費	42,065	44,457
貸倒引当金繰入額	1,984	7,930
その他	213,058	258,588
販売費及び一般管理費合計	1,009,544	1,077,754
営業利益	41,333	72,184
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	35,489	39,162
助成金収入	169,812	—
貸倒引当金戻入額	48,788	—
その他	6,510	885
営業外収益合計	260,605	40,052
営業外費用		
支払利息	11,660	10,870
借入関連費用	696	843
その他	1,331	176
営業外費用合計	13,687	11,890
経常利益	288,250	100,346
特別利益		
受取補償金	—	134,786
特別利益合計	—	134,786
特別損失		
固定資産除却損	8,026	3,134
事業所閉鎖損失	—	887
特別損失合計	8,026	4,021
税金等調整前四半期純利益	280,224	231,111
法人税、住民税及び事業税	22,773	20,648
法人税等調整額	14,257	19,816
法人税等合計	37,030	40,465
四半期純利益	243,193	190,645
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,931	1,489
親会社株主に帰属する四半期純利益	241,261	189,156

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	243,193	190,645
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53,204	179,236
その他の包括利益合計	53,204	179,236
四半期包括利益	296,398	369,882
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	294,466	368,393
非支配株主に係る四半期包括利益	1,931	1,489

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。